

いざ、地域決勝大会へ

# Machida Dream まちだドリーム

## PK戦の末、薄氷の勝利!

11月24日、鳥取市コカ・コーラウエストパークにおいて行われた全国地域リーグ決勝戦の第一次ラウンドでFC町田ゼルビアは矢崎パレンテと勝点6同士の全勝対決をPK戦で制し1次ラウンドを突破。石垣島で行われる決勝ラウンドに駒を進めた。



**決勝ラウンド明日30日(日)  
すべてが決まる!**

- 28日(金) 13時15分**  
Vs レノファ山口(中国リーグ1位/C組)
- 29日(土) 13時15分**  
Vs V・ファーレン長崎(九州リーグ2位/B組)
- 30日(日) 10時00分**  
Vs ホンダロック(九州リーグ3位/A組)

決勝ラウンド進出4チーム中、1位&2位がJFL自動昇格。3位はJFL下位と入替戦予定(JFLからJ2に昇格が3チームとなった場合は3位まで自動昇格。今年は3チームが昇格する見込みなので、4チーム中3チームが自動昇格する見込み)

# 劇的勝利

JFL昇格へ大きく前進!

JFL昇格決戦 第1次ラウンド突破



**前半からゼルビアが圧倒**  
寒く冷たい激しい雨の中、野津田を思わせるような圧倒的な応援のなか、立ち上がりから気合十分のゼルビア。全員が気迫のこもった声を出し合いながら激しい攻防。昨日までの守備一辺倒の相手とは違い、開始から攻めてくる矢崎と前半5分までは五分五分の攻防。しかし時間が経つにつれやはりゼルビアペース。津田も戻りベストメンパーのゼルビアは華麗なパス回しと早く高い位置でのプレスで相手ゴールに迫る。5分に浦原が絶好機を演出しシュートもあと一歩。7分の浦原のセンターリングに酒井山腰があとちよつと届かない。13分には浦原のシュートを相手キーパーがナイスセーブ。34分にもゴール前混戦の絶好機もはじき出されるなど圧倒的に攻め続けるもののゴールを割れず前半はスコアレスの0対0。しかし相手はボールを取られても早いプレスですぐに取り戻し、危ないシーンはゼロ。シュート数6対1。

### 44分起死回生の同点弾

後半になってゼルビアの怒涛の攻撃はさらに勢いを増す。開始1分に浦原が絶好機を演出すれば2分にかけては怒涛の攻撃。3分には石室のシュートがバーの上。5分石室、6分津田とゼルビアのシュートが雨あられ。ところが8分、ゼルビアの攻撃をカットされて左サイドに大きなパス。ゼルビアディフェンダーがしっかりとついて数的にも心配ない状況からディフェンダーを一人かわしてペナルティーエリアの外からセンターリングと思いきや確度のないところからのシュート。それがきれいにネットを揺らしまさかの25m弾を決められる。矢崎の前後半を通じて2本目での試合最後となったシュートで先制を許す。

まさかの展開に会場は異様な雰囲気。ゼルビアもひき続き怒涛の攻撃を繰り返すが11分浦原のシュートはバーの上。20分には勝又の決定的シュートも左ポストに跳ね返される。戸塚監督は21分には山口を投入。すぐに山口が絶好のセンターリングで森川が頭で合わせるがキーパーがナイスセーブ。27分にも勝又のシュートがわずかにそれる。28分にも柳崎の絶好機のシュートもキーパー正面をつく。35分にはディフェンダーの森川を下げ同じくディフェンダーの雑賀をトップで張らせて3トップに

42分には勝又がオーバーヘッドを試みるが合わず。もうダメかと思われた44分相手のクリアボールを左サイドで拾った山口がそのままゴールライン際まで駆け上がり山口しか上げられない絶妙のセンターリング。ゴール前絶望のように結んでいたゼルビア攻撃陣が二人頭を越されたところで浦原がダイビングヘッド。起死回生の同点弾でやっとなぎ免れる。ラストイム3分もディフェンダー山崎までトップに張るような怒涛のパワープレー攻撃でゼルビアが一時的に攻め立てるもゴールを割れず運命のPK戦へ。

### サポーターの勝利!



# 地域決勝リーグ決勝大会 ゼルビア、 JFLへ大勝スタート!!

初戦・第2戦  
ハイライト

JFL昇格をかけた地域リーグ決勝大会の第一次ラウンドが去る22日より鳥取県コカ・コーラウエストパークにおいてはじまり、FC町田ゼルビアは初戦を7対0で快勝。JFL昇格に向けて幸先のいいスタートを切った。

第一次ラウンドは22日、23日、24日の3日連続の3試合。4チーム中の一位だけが石垣島で行われる決勝ラウンドに進むことができる。



## 初戦

### 前半4分に先制、 昨年のリベンジ

会場のウエストパークのグラウンドは最高のピッチコンディションで選手を迎える。

佐川ボールではじまったもののすぐにゼルビアペースで展開。4分には浦原の左エンドライン際からのセンターリングを胸でトラップした勝又が右足先でゴールに押し込み先制。昨年の地域決勝の「悪夢の開始4分の失点をリベンジ」。その後酒井を中心にゼルビアのワンタックパスが展開されると12分には相手のパスをインターセプトした石堂がペナルティエリアの外から強烈なミドルを決めて2点目。続く16分にはハーフライン付近でパスをカットした勝又がそのまま駆け上がった最後は左サイドの浦原が決めて3点目。決定機をつくらせることなくそのままゼルビアが圧倒して前半を終了。後半もまったく危ないままに4点を追加。鬼門の第一試合を快勝。昨年の「初戦開始4分の悪夢をリベンジ」。第一次ラウンド突破に向けて大きく前進した。

## 第2戦

### 酒井が値千金弾!

対戦相手のノルブリッツ北海道は初戦を2対0で敗退している状態。今日もゼルビアがスタートからの圧倒を予想させるような立ち上がり。2分山腰のヘディング、6分、8分と酒井が連続してシュートと早い段階での得点を期待させたが、そんな相手に段々チームともチームともピンチもピンチも打ち破したの

に引いているわけでもない。と流れが悪くなり20分間両にシュートがない展開。チャも立ち上がりからいい動



## 決定機もピンチもなし!?

後半に入りやつとゼルビアの猛攻がはじまる。2分中川のヘディングシュート、4分柳崎のルーブシュート、7分山腰のシュート、10分森川のヘディングと点が入るのも時間の問題というような展開が続く。しかし15分過ぎからまた膠着状態。ノルブリッツには5分と40分に打たれた以外、シュートもない状態ではあるもののゼルビアもその後は山腰、勝又、浦原のシュート3本にとどまり決定機を作れないまま時間が流れる。なかなか良くならない流れを変えるべく、39分に山腰に代わり柏木を投入。その後は柏木が縦横無尽に走り回るものの決定機をつくることはできず。両チームのイライラがそのままプレーに出てノルブリッツの選手が退場となるなど、荒れた試合となったものの最後まで危ないシーンは作らせないうちに試合終了。

結果がすべての短期決戦のなかで、内容は良くないものの2戦2勝。所期の目的を達成し最終日に臨む。

夢おこし まちおこし 町田チャレンジ

イレブン  
ゼルビア2011年宣言

2011年、私たちはJリーグ昇格を実現します。  
まちに元気、子どもに夢と希望を運びます。



FC  
Machida  
Zelvian